



八幡平地域の国立公園指定50周年を記念して式典が行われました

十和田八幡平国立公園八幡平地域指定50周年記念式典(八幡平国立公園協会主催、会長・谷藤裕明盛岡市長)は10月15日、八幡平ハイツで開かれました。

岩手、秋田両県の行政、山岳、観光、自然保護関係者など約60人が出席し、昭和31年7月の国立公園追加指定以降の歩みを振り返り、魅力ある八幡平を未来に引き継ごうと決意を新たにしました。

式典では、八幡平などで活動する八幡平市山岳協会、八幡平遭難対策委員会捜索救助隊など7団体に感謝状を贈



八幡平の自然保護や登山者の人命救助などに貢献した7団体に、感謝状が贈られました

呈。谷藤会長が「四季を通じて愛される国立公園の貴重な自然を守り育てるきっかけとしたい」と式辞を述べました。

シンポジウムでは、観光客に八幡平を案内する八幡平自然散策ガイドの会の泉館賢一会長が、活動事例を紹介しました。この後の記念講演で、旅行ライターの大塚裕雄さんが「がんばれ八幡平、めざせ理想の地域づくり」と題して講演。大塚さんは「八幡平は山、川、農業などがあり、観光地としてたくさんの可能性を持っている。地元の活動が一つ動き出せば、次々とアイデアが集まってくるだろう。斬新な企画を打ち出して、活性化の起爆剤としてほしい」と期待を込めました。



記念講演をした大塚裕雄さん



活動報告をした泉館賢一さん

十和田八幡平国立公園の歩み

1936(昭和11)	十和田湖が国立公園に指定される
1949(昭和24)	八幡平が岩手県立自然公園に指定される
1956(昭和31)	八幡平地域を国立公園に追加指定 十和田八幡平国立公園となる
1959(昭和34)	八幡平温泉郷(玉川、後生掛、大深、 蒸ノ湯、藤七)を国民保養温泉地に 指定
1961(昭和36)	八幡平スキー場に夏山兼用リフト が完成し、登山客が急増する
1964(昭和39)	八幡平の公園区域を鳥獣保護区に 指定
1965(昭和40)	三ツ石山荘新築 網張松川線道路(奥地産業開発道 路)整備着手
1966(昭和41)	松川温泉で全国初の地熱発電所が 操業を開始
1967(昭和42)	八幡平道路が完成し、盛岡から山 頂まで直通バス運行開始
1969(昭和44)	見返峠に岩手、秋田両県がそれぞ れレストハウスを造成
1970(昭和45)	八幡平を横断する有料道路・八幡 平アスピーテライン開通
1975(昭和50)	八幡沼湖畔の避難小屋・陵雲荘を 建て替えし、完成
1982(昭和57)	東北自動車道松尾八幡平インター チェンジが開業 松尾鉱山跡地に新中和処理施設が 完成し、本操業を開始
1986(昭和61)	国立公園指定30周年を記念し、八 幡平頂上展望台を建設
1992(平成4)	有料道路八幡平アスピーテライン の通行料徴収を廃止
1993(平成5)	八幡平山頂～松川温泉間に八幡平 樹海ライン開通
1996(平成8)	国立公園指定40周年記念式典で、 八幡平を永劫(えいごう)保護と宣 言する
2004(平成16)	見返峠の八幡平レストハウスガリ ニユーアル 柏台に松尾八幡平ビジターセン ターがオープン
2006(平成18)	十和田八幡平国立公園八幡平地域 指定50周年 国立公園指定50周年記念式典を 開催



50<sup>th</sup>

八幡平地域の  
国立公園指定

国立公園の指定  
50周年を迎える

市の名称にもなっている八幡平地域は今年、十和田八幡平国立公園に追加指定(昭和31年7月10日指定)されて50周年を迎えました。十和田地域も国立公園指定70周年の記念すべき年です。国内でも八幡平ほど手付かずの大自然が残り、美しい景観や高山植物を楽しめる場所はあまりありません。わたしたちが自然と景観を守り育ててきた八幡平が、国立公園に指定されるまでをたどってみましょう。

昭和11年八幡平  
包括指定ならず

大正10年、当時の内務省が国民の保健・休養などの目的で、国立公園計画の実地調査

を始めました。

昭和4年、国立公園の第一次選定地域として十和田湖を含む全国6カ所の発表。十和田湖の公園指定地域に八幡平と田沢湖を含める運動が高まりました。地域を挙げての運動を展開した結果、昭和11年2月1日、十和田湖が国立公園の指定を受けましたが、八幡平地域の包括指定は将来に持ち越されました。

国立公園化運動  
2度目も実らず

観光開発に力を入れる県と関係市町村は、八幡平国立公園化運動をさらに展開しました。この熱意に応えるように昭和25年、国立公園調査団が来県。現地調査で、八幡平は国

3度目の正直で  
十和田追加指定

国立公園化運動の火は消えず、関係機関への陳情は絶えず続けられました。昭和30年、厚生省は再び八幡平を綿密に調査。国は新しく国立公園の指定を行わない方針だったことから、昭和31年、十和田国立公園に追加指定されました。



昭和45年8月13日、八幡平山頂への観光道路・アスピーテラインが開通



# 松本さん 全国最優秀賞

第24回全農酪農経営体験発表会は9月15日、東京都のJ Aホールで開かれ、松尾寄木の子さん(53歳)夫婦が、最優秀賞の農林水産大臣賞に輝きました。

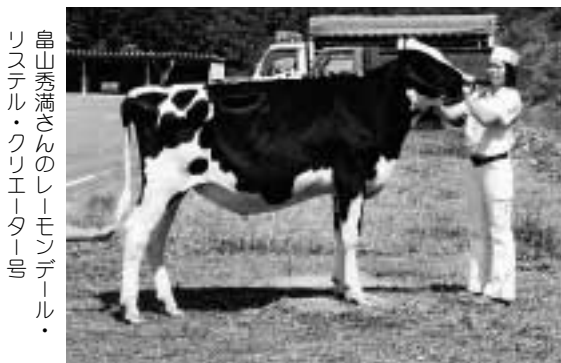
発表会には、全国各地の全農本部などが推薦する酪農家の書類審査や現地視察を経て、5人が出場しました。松本



最優秀賞を受賞報告に市役所を訪れた松本千秀さん(左)

さんは「恵まれた草地基盤を有効活用し、人との交流を大切にしたい酪農経営」と題して、酪農の歩みと経営状況などを発表。年間を通じて、自前で牛のえさを供給できる態勢を整え、低コスト経営を実践している点が評価され、今回の受賞となりました。

松本さんは、昭和43年に乳牛1頭で酪農を始めました。現在は、経産牛68頭、初妊牛17頭、育成牛28頭を飼養し、牧草地約50haを管理しています。平成12年、60頭牛舎の新築を機に、自動給餌機など機械化を促進。周辺の離農地や転作田を借り、牧草地を拡大し、粗飼料を自給できる基盤を確立しました。このため、経営効率が図られ、17年の経産牛一頭当たりの乳量は、8622kgとなりました。



## ホルス、黒毛で1等受賞 第50回岩手県畜産共進会

手塩にかけて育てた牛の発育や品格などを競う岩手県畜産共進会は8月30日、9月1日の2日間、雫石町のJ A全農いわて中央家畜市場で開かれました。戦後まもなく始まったこの大会は、今年で50回目となります。共進会には、県内から黒毛和種96頭、ホルスタイン種98頭、日本短角種50頭が出場。この記念大会で、市内から出品した島山秀満さん(大更)と、中軽米正さん(松尾寄木)がそれぞれ1等を受賞しました。

島山秀満さんのレーモンデール・リストレル・クリエーター号

中軽米正さんのたかご号



兵庫国体・レスリング少年フリースタイル84kg級で、3位に入賞した佐々木智康選手

9月30日から10月10日まで開催された第61回国民体育大会秋季大会(のじぎく兵庫国体)で、盛岡工高3年の佐々木智康選手(堀切)が、レスリング少年フリースタイル84kg級に出場し、3位に入賞しました。

佐々木選手は大会3日目の10月2日、兵庫県猪名川町で行われた大会の2回戦から出場しました。初戦は、1分10秒でフォール勝ちし、順調なスタート。準決勝も2対0の判

定勝ちを収め、準決勝進出を決めました。

準決勝の相手は、夏の近畿インターハイで敗れた永田裕城選手(京都・網野高)。佐々木選手は、得意の前に出るレスリングで果敢に攻めましたが、準決勝で敗退し3位となりました。佐々木選手に勝った永田選手が優勝しています。このほか、レスリング成年フリースタイル96kg級で、伊藤拓也選手(平笠)が5位に入賞しました。

## 岩手地区中学校新人大会の結果

岩手地区中学校新人大会は、9月16日から、各競技会場で行われました。市内中学校から団体、個人競技でそれぞれ3つ優勝するなど活躍を見せました。大会で3位以内に入賞した団体、個人は次のとおりです。(敬称略)

- 軟式野球
  - ③西根中、西根第一中
- サッカー
  - ②西根中
- ソフトボール
  - ①松尾中
- バスケットボール

## 西中音楽部が県合唱コンで金賞

西根中学校の音楽部は9月3日、全日本合唱コンクール岩手県大会中学校の部で金賞を受賞しました。東北大会は9月30日、福島県で行われ25校が出場。西根中は優良賞を獲得しています。

同音楽部は9月24日に、子ども音楽コンクール岩手県大会でも優秀賞に輝き、10月21日に宮城県仙台市で行われた、同コンクール東北大会へ出場しました。



10月14日、西根中文化祭ステージ発表で合唱を披露した音楽部

- ▽男子①西根第一中
- ▽女子②西根中、③西根第一中
- バレーボール
  - ▽女子②西根中、③松尾中
- ソフトテニス
  - ▽男子団体①安代中、③西根第一中▽男子個人②羽沢・小山田組(安代中)、③日戸・工藤組(西根中)
  - ▽女子団体②西根第一中、▽女子個人②古川・高橋組(松尾中)、③伊藤・小野

- 剣道
  - ▽女子団体③西根中▽女子個人③三好優香(共通の部)
- 柔道
  - ▽男子団体③西根第一中▽男子個人①田村明裕④8kg③長内瞬②同①佐々木渉太②55kg②佐々木守②73kg③島山夏樹②同(以上、西根第一中)
  - ▽女子団体③西根第一中▽女子個人①小岩響子②48kg②伊藤陽香②同③伊藤珠三恵②52kg②遠藤翔子②57kg(以上、西根第一中)
- バドミントン
  - ▽女子団体③安代中

## 人権擁護委員に田川さん

法務大臣が委嘱する人権擁護委員に、田川春雄さんが10月1日付で再任されました。任期は21年9月30日までの3年間です。

人権擁護委員は、住民にとつて身近な相談相手です。市内では毎月、人権相談所が開設されています。日程などは、広報で確認してください。



田川春雄さん(72歳、清水)